

# 財務諸表に対する注記

## 1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
満期保有目的の債券・・・償却原価法(定額法)を採用している。但し額面と取得価額との差額に重要性が乏しいと判断された場合には、当該差額について満期償還時に計上するものとする。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
貯蔵品・・・最終仕入原価法による原価法を採用している。
- (3) 固定資産の減価償却の方法  
有形固定資産・・・定率法を採用している。
- (4) 引当金の計上基準  
退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、期末退職給付の要支給額に相当する金額を計上している。
- (5) リース取引の処理方法  
リース会計基準適用初年度開始前の所有権移転外のファイナンスリース取引については、引き続き賃貸借取引に準じた会計処理によっている。
- (6) 消費税等の会計処理  
税込方式によっている。

## 2 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	3,205,825	1,160,118	0	4,365,943
特別寄付金引当資産	704,685	0	238,639	466,046
小 計	3,910,510	1,160,118	238,639	4,831,989

## 3 特定資産の財源の内訳

特定資産の財源の内訳は、次のとおりである。(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対する対応額)
特定資産				
退職給付引当資産	4,365,943	-	-	(4,365,943)
特別寄付金引当資産	466,046	(466,046)	-	-
小 計	4,831,989	(466,046)	-	(4,365,943)

## 4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	21,598,488	12,422,568	9,175,920
什器備品	6,690,555	6,547,947	142,608
楽器等	418,117	153,307	264,810
合 計	28,707,160	19,123,822	9,583,338

## 5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
次代の文化を創造する翻進芸術家育成事業	文化庁	-	14,106,716	14,106,716	-	-
伝統音楽普及促進支援事業	文化庁	-	4,699,634	4,699,634	-	-
文化芸術振興費補助金	独立行政法人日本芸術文化振興会	-	4,400,000	4,400,000	-	-
都民芸術フェスティバル	公益財団法人東京都歴史文化財団	-	3,600,000	3,600,000	-	-
東京芸術文化創造発信助成	公益財団法人東京都歴史文化財団	-	500,000	500,000	-	-
次代の文化を創造する翻進芸術家育成事業	文化庁	-	1,176,516	1,176,516	-	-
文化芸術交流海外派遣助成	独立行政法人国際交流基金	-	1,001,000	1,001,000	-	-
芸術文化振興基金助成金	独立行政法人日本芸術文化振興会	-	200,000	200,000	-	-
文化芸術振興費補助金	独立行政法人日本芸術文化振興会	-	1,600,000	1,600,000	-	-
県域芸術文化活動支援事業補助金	兵庫県企画県民部	-	450,000	450,000	-	-
覚書	神戸市教育委員会	-	150,000	150,000	-	-
合 計		-	31,883,866	31,883,866	-	-

## 6 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	3,205,825	1,160,118	0	0	4,365,943

## 7 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内容	金額
経常収益への振替額	
目的達成による指定解除額	238,639
合 計	238,639